



# 果樹特報

No.9

平成 25 年 7 月 12 日  
J A 中野市営農センター  
J A 中野市りんご・もも部会

平年より大幅に早い 7/6 に梅雨明けとなりました。梅雨明け後の高温で、主要害虫（ハダニ類・シンクイムシ類等）の発生密度が急激に高まることが予想されます。特に薬液がかかりにくい徒長枝や下枝付近では、毎年発生密度が高い傾向にありますので、夏季管理を適宜実施し、薬液が通りやすい環境を整えましょう！また、シンクイムシ類の食害が核果類で多い状況です。毎年被害が大きい園では、害虫発生調査をこまめに実施し、散布が遅れないように十分注意してください。

今回の薬剤散布は、害虫の発生密度を低下させ、8月以降の多発を防ぐことを目的としています。よって、散布間隔は空け過ぎないように注意しましょう。今回の薬剤散布内容は下記によりますが、不明な点は担当技術員までお問い合わせください。

## りんご

### 7月中下旬の薬剤散布（前回より15日後）

◆ 散布日	月	日
◆ 散布量		ℓ

- ◆ 散布時期：7月20日～25日 \*注意事項①参照
- ◆ 散布薬剤：水 100ℓ
- 展着剤 10ml \*注意事項②参照
- ダニゲッターフロアブル 50ml（前日、1回） \*注意事項③参照
- ダズバン DF 33g（14日前、2回） \*注意事項④参照（劇物）
- ナリアWDG 50g（前日、3回） \*注意事項⑤参照
- スイカル 100g（カルシウム剤） \*注意事項⑥参照
- ◆ 散布量：10a 当り 600ℓ \*注意事項⑦参照
- ◆ 対象病虫害：輪紋病、炭そ病、褐斑病、斑点落葉病  
りんごハダニ、ナミハダニ、モモシンクイガ、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ

～注意事項及びハダニ類対策～ \*必ずお読みください。

- ① ハダニ類等の発生が目立つ場合は上記の日程より前倒しで実施する。（詳しくは担当技術員までお問い合わせください。）
- ② 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、機能性展着剤のササラの2000倍（100ℓに50ml）を使用すると薬液が葉裏（毛の間）によく広がる効果がある。
- ③ ダニゲッターフロアブルは、開花期の水稲に飛散すると、不稔等の薬害を生じる場合があるので注意する。また、殺ダニ剤の効果が高めるために、徒長枝切りや下草除草を薬剤散布予定の3～4日前に実施する。
- ④ ダズバンDFは、劇物登録薬剤であるので、購入の際は印鑑を持参してください。また、シンクイムシ類の食害がある場合は、被害果を必ず採取して水没処理すること。（二次被害を発生させないようにする）
- ⑤ ナリアWDGはピオーネ・サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないようにする。
- ⑥ カルシウム剤「スイカル」の1000倍は、ビターピット・果実軟化防止や果実からの油上がり予防、果実の日持ち性向上、新梢の徒長抑制などに効果があるので、必要により加用する。
- ⑦ 園全体によく飛散するように、散布量は多めに設定する。特に園が込み合っている場合は、外周等に死角がでないように注意する。

◆ 次回散布予定：8/5～10

次回（8月上旬）は、盛夏期の薬剤散布になります。毎年、シンクイムシ類の被害が大きい園では、散布間隔をあけすぎないように注意しましょう！

注：裏面に「もも」と「ネクタリン」の防除が掲載されています。

【注意】梅雨明け後の高温により、モモハモグリガ・シンクイムシ類・ハダニ類の発生が心配されます。定期散布は遅れないように注意してください。

**せん孔細菌病の春型枝病斑が散見されています。枝病斑の切除を徹底してください！！**

また、収穫前や収穫中の作物への飛散に充分注意してください。

**もも**

**第9回 定期防除**

7月中下旬の散布（前回より15日後）

散布時期： 7月18日～23日 \*散布時期は目安です

\*殺ダニ剤の効果を高めるため、散布3日前までに下草刈りを実施する

散布薬剤：（混用順）

水	100ℓ
展着剤	20ml
オンリーワンフロアブル	50ml（前日、3回）
ダニゲッターフロアブル	50ml（前日、1回）
サムコルフロアブル10	20ml（前日、2回）

散布量：10a当たり 600リットル

対象病虫害：灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病  
シンクイムシ類、モモハモグリガ、ハダニ類

【注意事項】

- ① クワシロカイガラムシ発生園は、スプラサイド水和剤1500倍（21日前、2回）を加用する。  
（ただし、収穫前規制に注意）
- ② ダニゲッターフロアブルは、開花期の水稻にかかると不稔等の薬害を生じる場合があるので、隣接園は注意する。
- ③ カメムシ類の発生園はアルバリン顆粒水溶剤2000倍（前日、3回）を特別散布する。

散布日	月	日
散布量		ℓ

次回散布予定：8/1～

**ネクタリン**

**第9回 定期防除**

7月中下旬の散布（前回より15日後）

散布時期： 7月17日～22日 \*散布時期は目安です

散布薬剤：（混用順）

水	100ℓ
展着剤	20ml
オンリーワンフロアブル	50ml（前日、3回）
サムコルフロアブル10	20ml（3日前、2回）

散布量：10a当たり 600リットル

対象病虫害：灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病  
シンクイムシ類、モモハモグリガ

【注意事項】

- ① ハダニ類の発生園はダニゲッターフロアブル2000倍（前日、1回）を加用する。
- ② サムコルフロアブル10に代えて、フェニックスフロアブル4000倍（前日、2回）でもよい。ただし、使用回数に注意する。
- ③ カメムシ類の発生園はアルバリン顆粒水溶剤2000倍（前日、3回）を特別散布する。

散布日	月	日
散布量		ℓ

次回散布予定

7/31～

もも及びネクタリン収穫前規制・使用回数 \*ももとネクタリンは違いますので注意してください。

	もも			ネクタリン		
	薬剤	回数	時期	薬剤	回数	時期
殺菌剤	ベルコートフロアブル	3回	前日	ベルコートフロアブル	2回	前日
	オーシャインフロアブル	3回	前日	オーシャインフロアブル	3回	前日
	アンビルフロアブル	3回	前日	アンビルフロアブル	3回	前日
	オンリーワンフロアブル	3回	前日	オンリーワンフロアブル	3回	前日
	インダーフロアブル	4回	前日	インダーフロアブル	4回	前日
	ナリアWDG	2回	前日	ナリアWDG	2回	前日
殺虫剤	アーデント水和剤	3回	前日	アーデント水和剤	3回	前日
	サイアノックス水和剤	3回	14日前	サイアノックス水和剤	2回	21日前
	ダイアジノン水和剤34 (劇)	4回	前日	ダイアジノン水和剤34 (劇)	3回	21日前
	フェニックスフロアブル	2回	前日	フェニックスフロアブル	2回	前日
	サムコルフロアブル10	2回	前日	サムコルフロアブル10	2回	3日前
	コテツフロアブル (劇)	2回	前日	コテツフロアブル (劇)	2回	7日前

農薬（毒物・劇物）をお買い求めの際には、印鑑をご持参ください。